

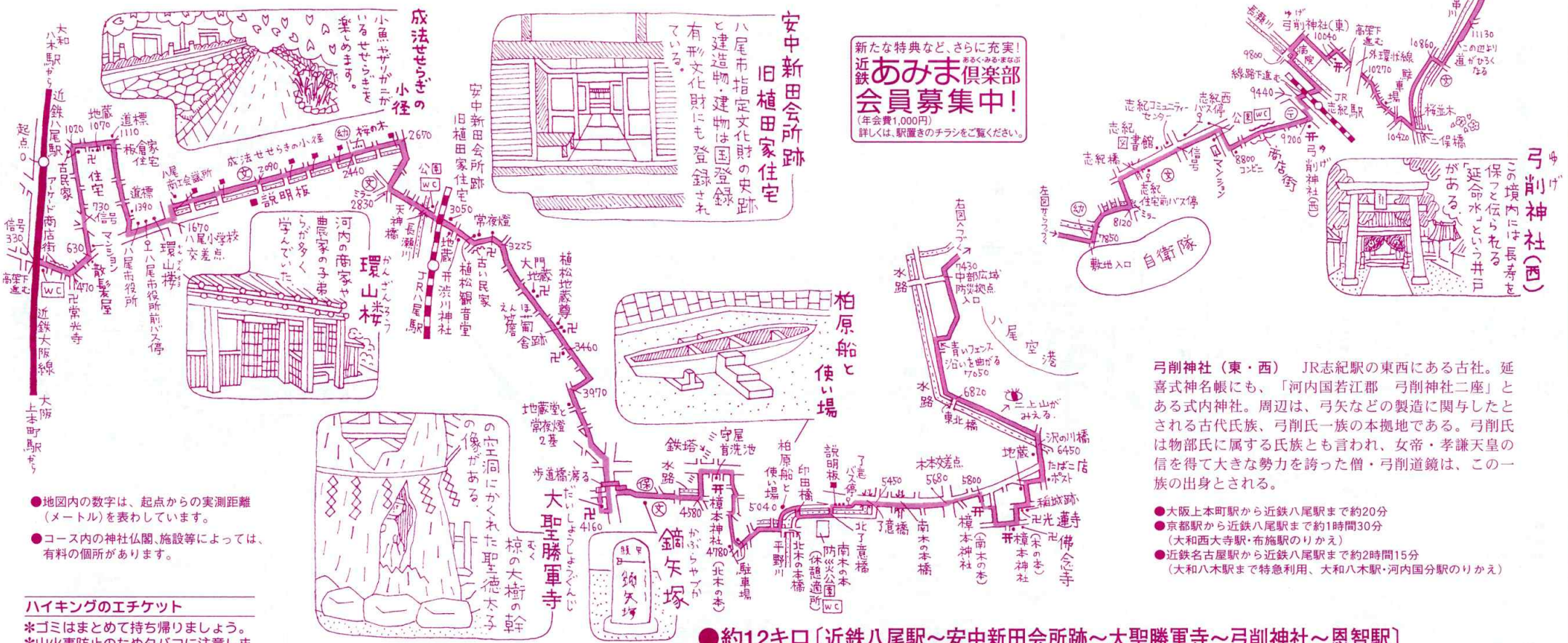
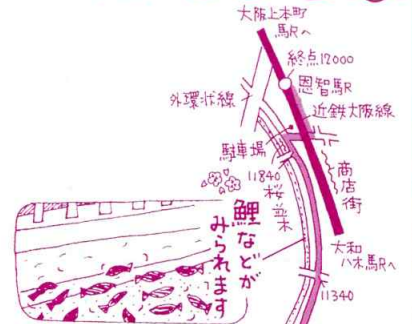
コースのあらまし 八尾市内の各所に残る古代から近世にかけての史跡を訪ねて、街中を巡り歩く。八尾駅を出発し、八尾市内町を経て環山楼あたりから「成法せせらぎの小径」をまっすぐ南下。JR線踏切を渡るとすぐ安中新田会所跡。古い街並みを西へ抜け国道25号線を少し歩けば、右手に聖徳太子ゆかりの大聖勝軍寺が見える。歩道橋を渡って南へ進み、防災公園を右に見てしばらく行くと古代の要塞・稲城址のある古い街並み。東へ進むと自衛隊駐屯地もある広大な八尾空港。その敷地の北側を東へ辿り、弓削神社(西)に至ると志紀駅がすぐ。駅北側のガード下を潜り、東の弓削神社を経て、玉串川沿いを北東へ辿ると恩智駅に至る。

常光寺 奈良時代、聖武天皇の勅願により行基が創建したと伝えるが、現在は臨済宗南禅寺派の末寺。地藏菩薩を本尊とし、「八尾の地藏さん」として親しまれる。境内の隅に建つ「河内最古之音頭発祥地」という碑の礎石は、豊臣秀吉の大坂城築城の際の残り石と言われる。周辺は大坂夏の陣の戦場になったが、徳川家康の命によりこの寺は手厚く保護されたという。

環山楼 江戸時代中期の八尾の豪商・石田利清が自分の別荘の一部を私塾とした建物が、八尾市役所の南隣に残されている。環山楼という名は、その別荘に招かれて儒学を講義した伊藤東涯が、その学舎から眺めた高安山・二上山・金剛山といった山々の景観に因み命名。以後、私塾として発展したと伝える。見学は水曜・土曜の10:00~16:00、無料。

安中新田会所跡(旧植田家住宅) 江戸時代中期、大和川付替えの大事業によって、八尾市域でも旧久宝寺川の河川敷などに多くの新田が開発された。そのひとつ、安中新田を管理する支配人となった植田家に、事務所である「会所」が置かれたという。その会所と住居の建物を、多くの資料とともに公開。八尾市指定文化財。要観覧料(大人200円)。火曜など休み。(☎072-992-5311)

大聖勝軍寺 聖徳太子が物部守屋との戦いを前に、信貴山毘沙門天に戦勝を祈願、その勝利後に建てたのが起源と伝える古刹。太子町の叡福寺、羽曳野市の野中寺とともに「三太子」のひとつに数えられ、「下の太子」と呼ばれる。現在は高野山真言宗の末寺。境内には「聖徳太子古戦場」の碑も建つ。付近の国道25号線沿いには、その物部守屋の墓所として明治時代に整備された「物部守屋大連墳」もある。



新たな特典など、さらに充実!
近鉄 **あみま倶楽部**
会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。
- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

きれいな思い出、きれいな自然
ゴミや空き缶は、持ちかえりましょう

このコース地図は2015年11月1日調査に基づいて作成しています。
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3566

●約12キロ〔近鉄八尾駅~安中新田会所跡~大聖勝軍寺~弓削神社~恩智駅〕

八尾市史跡巡りコース

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=宮野耕治
※無断転写禁止。

